

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（湖東地域）第2回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年10月4日（金） 9時30分～11時30分

場 所：湖東合同庁舎3階消費生活センター研修室

出席者：大野 均 委員（甲良町商工会 会長）

河原田 均 委員（公募委員）

小林 伊三夫委員（公募委員）

式部 綱祐 委員（彦根警察署 交通課課長）

關谷 真治 委員（彦根市都市建設部道路河川課 課長）

竹中 仁美 委員（愛荘町商工会 女性部 部長）

田中 智恵子委員（豊郷町商工会 理事）

田邊 好彦 委員（公募委員）

轟 慎一 委員（座長）（滋賀県立大学 准教授）

羽田 順行 委員（愛荘町建設・下水道課 課長）

藤本 一之 委員（多賀町地域整備課 課長）

村岸 勉 委員（甲良町建設水道課 課長）（代理出席：寺居 友彦氏（課長補佐））

矢田 全利 委員（彦根観光協会 専務理事）

山田 裕樹 委員（豊郷町地域整備課 課長）

欠席者：見津 京子 委員（日赤奉仕団多賀支部 委員長）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 座長あいさつ

3. 地域ワーキング

（1）第1回地域ワーキングの討議内容の確認

- ・事務局より第1回地域ワーキングの討議内容について説明を行った。

（2）資料説明「第2回地域ワーキング」

- ・事務局より第2回地域ワーキングについて説明を行った。

（3）意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【地域の声（案）について】

① 誰もが安全に安心して移動できる道路空間の整備

- ・豊郷町の町内は、町道が狭く、歩道も4kmしかないので、他の地域の状況が羨ましい。
- ・中山道は非常に狭くて見通しも悪く、歩道の整備をしてもらわないと歩行者が安全安心に通れない道路がある。また、夜間の電灯が少ないという意見もある。
- ・ラウンドアバウトは、事故が少ないという記事を見たことがあるので、もし有効なのであれば取り入れていくべきだと思う。
- ・中山道には大型車禁止とか、20キロ制限にするとかの対策もできるのではないかと。事故が起こってからではいけない。

② 交通渋滞の緩和と観光や物流を活性化させる道路ネットワークの強化

- ・主要道路を活用する住民から見ると、出てからの道路も整備されていないといけない。
- ・前回、道路損傷のサイクルについての意見を出したが、道路ネットワークの強化で分散化が担保されると思うので、盛り込まれていると感じている。
- ・周辺道路の整備、中山道から右折、直進左折と右折の専用道路を作ってもらっているが、右折専用道路が狭い。2台並べない。矢印の信号があると良いと思う。

③ 水害・雪害などに備える、災害に強い道路の整備

- ・高齢化が進化する町で、災害により身動きがとれないことは色々な面で支障をきたすことになる。
- ・水害・雪害が定期的に発生するようであれば道路の機能強化が必要である。
- ・昨年末の大雪で、306・307号の急勾配区間において交通渋滞があった。そのあたりの改良もお願いしたい。
- ・今年初旬の大雪では、除雪に苦労した。どうしても歩道の除雪がおざなりになる。次の冬も降雪量が多いと言われているので、それまでに考えていかないといけない課題だと思う。道路だけでなく、歩道もしっかりと解決できるような取り組みが必要ではないか。
- ・湖東地域は中途半端に積雪が多い。湖北地域のように多いと体制がしっかりしているが、湖東地域はしっかりしていない。年によって積雪が多いと大変混乱している。山間部では道路が止まることもある。
- ・路面排水について、最近の大雨では道路の側溝から雨水があふれていた箇所が多くあった。蓋やグレーチングが良いのか分からないけど、災害に強い道路になっていない。

④ 既存道路施設の適切な維持管理

- ・地域の声の①・②は発展強化、前向きな新たな整備についてのことで、③・④は、現状の維持管理についてとなるが、共通するのは“誰もが安全・安心”にだと思ふ。維持管理も並行して考えていかないといけないと思う。
- ・前回、交通量の分散化がされていないという意見を出したが、維持管理で道路損傷の部分が担保されると思うので、盛り込まれていると感じている。
- ・整備と維持管理は表裏一体。老朽化してから慌てて対応ではなく常時対応をお願いしたい。

- ・速度制限のマークや白線などの路面標示が消えている箇所が多い。道路を作った時はきれいに整備するが、その後が放ったらかしになっている。維持管理に力を入れるべき。

【地域の重点項目（案）について】

① 通学路における歩道整備

- ・多賀町は歩道の整備が重要である。県道・国道のみでなく、町道も歩道ができていない。県道・国道でも歩道がつながっていないところがあるので、今の事業を継続してもらいたい。
- ・地域の声では「誰もが安全に」なのに通学路に特化している。県道として連続性のあるものに。交通弱者、自転車という観点も出ていたので、通学路に限定した表現で良いのか。通学路も含めて、交通弱者や自転車は入らないのか。
- ・通学路を含めた生活道路におけるといった広げた表現が良いのではないか。交通事故で被害者になる方は高齢者が半分を占めている。“誰もが”とするのであれば、高齢者も含めた交通事故による被害防止という観点では生活道路にした方が良いのではないか。
- ・学生の通学自転車が2列になって走っているのをよく見かける。歩いていてもぶつかってくる危険性があり、結構なスピードで走っている。取り締まりもされていない。対策をお願いしたい。

② 国道8号を補完する周辺道路の整備

- ・既存道路に流れ出してきたときの交通渋滞も心配なので、計画的な整備をしてもらいたい。
- ・交通渋滞の緩和と周辺道路の整備はこれで良いと思うが、渋滞の原因はたくさんの要因がある。交通量は新しい道路ができれば変わるので、その都度見直していく必要があると思う。

③ 観光地・物流拠点・IC（交通結節点）へのアクセス強化

- ・アクセス強化は地域活性化の観点で評価されるのか。
- ・観光地への看板案内が不十分。ICから降りたところ、彦根城はこちら、だけ。観光振興を進めるのであれば、観光客の目線に立った、分かりやすい標識整備が必要だと思う。
- ・人口が減少しているため、新たな道路整備を進めるより、身の丈に応じた道路整備も必要ではないかと思う。

④ 緊急輸送道路の機能強化

- ・緊急輸送道路は名神高速道路と8号があるが、名神高速道路が止まる可能性が高い。8号は日常的に非常に渋滞が多く、交通量が多いところなので、8号バイパスが必要である。来年度には計画着手と聞いたが、しっかりと早急に進めてもらいたい。
- ・緊急輸送道路について、警察についても、道路管理者と連携して先手の連絡網体制や早めの交通規制を進めていきたい。今後も情報共有を早く行い、役割分担を行っていきたい。

【その他について】

- ・地域の声と重点項目については、これで良いと思う。
- ・案で提示されたものは、第1回意見をとりまとめた上で、取りまとめ方針に適した形で示していただいた内容で反映されていると思う。適切だと思う。
- ・地域の声、重点項目については、良いのではないかなと思う。簡潔に記載することで分かりやすく表現できていると思う。しっかりそれに向けた項目をあげることによって、分かりやすく伝えられるようにできていると思う。
- ・資料11ページについて、観光バスではなく、コロナで移動手段が日常の通勤でなくて、公共交通機関から自家用車に転換されたという意見ではないかなと思う。29ページの項目整理については、この方向性で良いと思う。
- ・重点項目が省略されているところもあると思うが、既往指標でカバーされていると思う。
- ・アクションプログラムでは夢のある、遊び心のあるものがないかなと思う。他の市町がやっていることをしても仕方ない。きらっとひかる道路整備をしてもらいたい。
- ・道の駅が彦根城周辺のどこかにあれば、観光という意味においては人を寄せる力になるのではないかなと思う。また、彦根城の駐車場で舗装しているところがない。世界遺産に登録しようとしているのに寂しい。そのあたりの改革も道路整備と一緒にできればと思う。